

科目名 (科目番号)	臨床実習Ⅱ (平成24年度以降入学生) (062323)	教員名 桐山 希一・他	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	実習		単位数	6
			オフィスアワー		桐山研究室他		
授業概要	<p>これまで学内で学習した知識と技術を踏まえ、医療施設や介護施設等において理学療法評価および治療の一部を経験する。</p> <p>理学療法の情報を中心とした具体的な検査項目や情報等を多面的に統合し、リハビリテーションの目標やニーズ・問題点の抽出、治療計画の立案ができる能力を身につけることを目的とする。</p>						
準備学習	<p>実際の臨床場面において困ることの無いよう、これまで学習した知識の整理をしておいてください。特に、理学療法評価に関する知識・技術が重要となりますので、重点的に復習しておいてください。</p> <p>実習にむけた準備は、「実習準備教育」として時間をとって行いますので、必ず参加してください。</p>						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
		実習準備教育	<p>学習内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床実習Ⅱの目的および概要の説明 実習経験学生との意見交換 診療記録、症例報告書、症例記録の要約、実習ノート等について 実習関係書類の作成、事務手続き等 保健衛生指導 接遇、身だしなみ、マナー教育(就職指導課、外部講師) 実習指導者による講話(外部講師) 実習指導者会議への出席 <p>・その他、実習を行う上で必要な事項</p>				
		臨床実習 (6週間)	<p>学習内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された施設において、6週間(30日)の実習を行う。 実習中は、原則として実習施設(臨床実習指導者)の指示に従って行動する。 担当教員は学生との面談や実習期間中の実習施設への訪問などを行い、積極的に学習の支援を行う。 <p>到達目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ある程度の助言・指導のもとに、理学療法の問題点の抽出、目標設定、治療計画の立案が行える。 				
		実習後学習	<p>学習内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> 症例報告会(「症例記録の要約」の作成にあたっては、担当教員の指導を受ける) 「実習ノート」の提出 「症例報告書」の作成 				
		総括					
成績評価の方法・基準	<p>学内評価、学外評価から総合的に判断する</p> <p>(1)学外評価 : 臨床実習指導者による報告書</p> <p>(2)学内評価 : ①症例報告会での審査、②症例報告書、③実習ノート</p>						
教科書	標準理学療法学 専門分野 臨床実習とケーススタディー			鶴見隆正 編集		医学書院	
参考図書							
教員からのメッセージ	<p>長期間にわたる学外での実習となります。心身の健康を保ち、充実した時間を過ごせるように心がけてください。</p>						